

平成25年度「事務事業の外部評価」集計結果

4 男女共同参画推進事業	票数	提言内容
1 拡充	1	
(1) 対象の拡大		
(2) 事業の手法、内容の拡充	1	<p>○今の取組は、「意識啓発」中心だが、次のステップとして、実際の働き方や家庭への関わり方、地域との関わり方を変えていくが必要になる。そのためには、田川の実態(特に企業)を踏まえた中で取り組み、輪を拡げる必要がある。</p> <p>○内容を充実させる必要がある。ただし、事業をもう少し分けて、かつ、整理していくべき。</p>
(3) 事業費の拡充		
(4) その他		
2 見直し	3	
(1) 事業の一部廃止		
(2) 事業内容、手法の見直し	3	
① 民間委託実施・拡大		
② 指定管理者制度の導入		
③ 自主財源確保(受益者負担等)		
④ 対象の見直し		
⑤ 手段の追加、改善	2	<p>○目的に対しての手法がずれないだろうか。視点が一方的にならないように注意しながら精査された方がいいと思います。</p> <p>○むしろ、審議会などに積極的に参加して、その視点の意見を出してもらった方が良く思う。</p> <p>○手段の重点化と役割分担が必要。啓発は終点のない取組。手法は工夫して地道に続ける。「女性人材バンクへの登録者の掘り起こし、登録者セミナーなどでの活性化、各種審議会へのバンク登録者のネジ込み」については重点化を図る。</p> <p>「料理教室」については庁内各課の横断的な取組なので、他の主体でも取り組めることには手を出さない。</p>
⑥ 設定目標の見直し	1	<p>○(現状で結構ですが)女性管理職への登用、育児休暇取得率UP等を目標に追加</p>
⑦ 実施期間の短縮		
⑧ その他		
3 廃止		
(1) 手段が目的化している		
(2) 達成手段として不適當		
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		
(5) 行政の役割終了、民間実施		
(6) その他		

(その他コメント)

○男女共同参画運動については、やらなければならないこととして確立されていることだけに、手法について固執する恐れがあります。

○男女共同参画は社会構造への挑戦。世界や日本の中で、田川市が確実に実行できることを着実に進める。